

「現金で支払う」が4年で10ポイント低下 ～キャッシュレス市場、〇〇が短期間で大きな伸び！～

国内1,400社超が利用する日用品流通の情報基盤を運営する株式会社プラネット（所在地：東京都港区、代表取締役社長：坂田政一）は消費財や暮らしにまつわるトピックスをお届けする『Fromプラネット』の第198号として、キャッシュレスに関する意識調査の結果をご紹介します。未掲載のデータ提供や当社担当者が解説を差し上げることもできますので、お気軽にお問い合わせください。

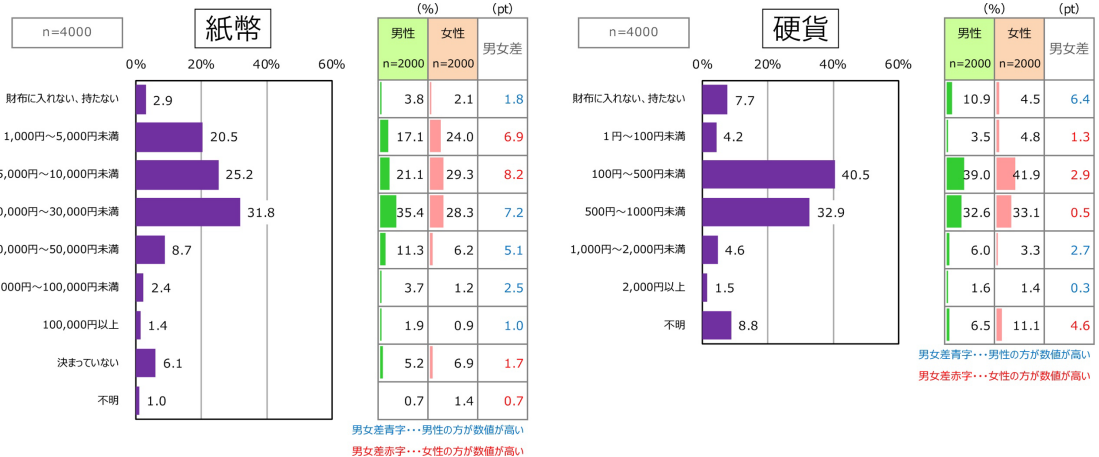
※回答率(%)は小数点第2位以下を四捨五入し同第1位までを表示しています。そのため、内訳の合計と表示値が異なる場合があります。

■ 現金、いくら持ち歩いていますか？

財布に普段、現金がいくら入っているかを、紙幣、硬貨それぞれについて聞きました(図表1)。紙幣については、最も割合が高かったのが「10,000円～30,000円未満」(31.8%)です。「5,000円～10,000円未満」(25.2%)、「1,000円～5,000円未満」(20.5%)の人と合わせると合計は77.5%となり、約8割の人が1000円から3万円未満の範囲内に収まっていることとなります。

図表1 「あなたのお財布には普段、現金がいくらくらい入っていますか。(お答えは1つ)」への回答(紙幣・硬貨それぞれについて)

次に硬貨については、「100円～500円未満」が40.5%、「500円～1000円未満」が32.9%でした。また、「財布に入れない、持たない」と回答した人が紙幣は2.9%、硬貨は7.7%いました。



■ 現金、一番の利点は「どこでも使える」

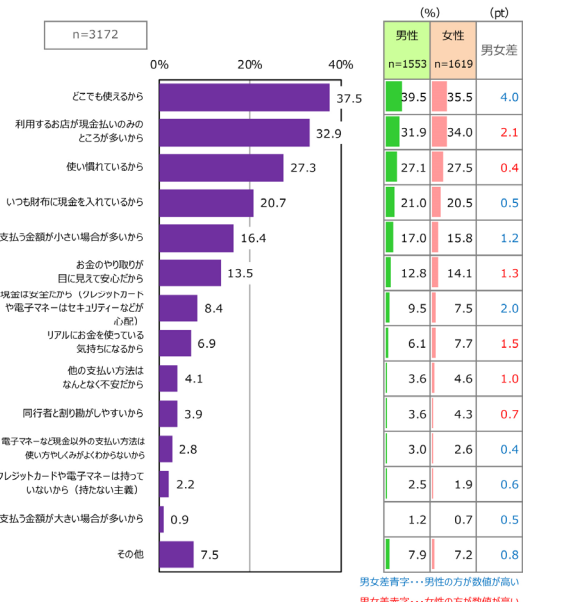
クレジットカードや交通系ICカード、最近ではQRコード決済など、現金以外にもさまざまな決済方法があります。普段から現金を利用して決済している人に、現金で支払いをする理由を聞きました(図表2)。

最も割合が高かったのは、「どこでも使えるから」(37.5%)でした。

2位以下は「利用するお店が現金払いのみのところが多いから」(32.9%)、「使い慣れているから」(27.3%)、「いつも財布に現金を入れているから」(20.7%)、「支払う金額が小さい場合が多いから」(16.4%)と続きます。

また、あまり割合は高くないものの、「お金のやり取りが目に見えて安心だから」が13.5%、「現金は安全だから(クレジットカードや電子マネーはセキュリティーなどが心配)」が8.4%となっていて、現金以外の決済手段に不安を抱いている人もいます。

図表2 「あなたが支払いに、現金を利用する理由はなんですか。主なものを3つまでお答えください。(お答えは3つまで)」への回答



■ 電子マネーは「お得感」アリ

次に、普段の決済に電子マネーを利用する人にその理由を聞きました(図表3)。

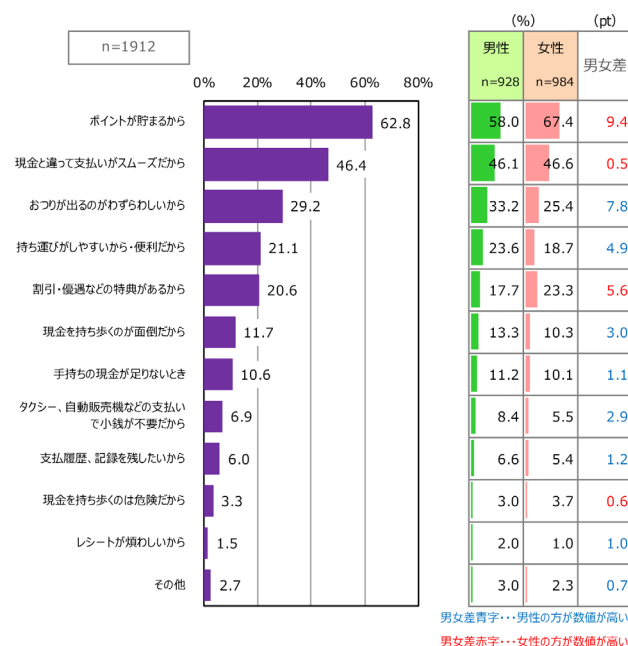
最も割合が高かったのは「ポイントが貯まるから」(62.8%)です。2位の「現金と違って支払いがスムーズだから」は46.4%で、半数近い人が理由に挙げています。

先程の現金で支払う理由(図表2)では、最も割合が高い回答でも40%を下回っていたので、上位2項目はかなり高い割合と言えるでしょう。

3位以下は「おつりが出るのがわずらわしいから」(29.2%)、「持ち運びがしやすいから・便利だから」(21.1%)、「割引・優遇などの特典があるから」(20.6%)と続きます。

また、「ポイントが貯まるから」と回答した人は女性のほうが約10ポイント高く、「割引・優遇などの特典があるから」は約6ポイント、女性のほうが高くなっています。女性のほうがポイントやお得感に強くひかれているようです。

図表3「あなたが支払いに、電子マネーを利用する理由はなんですか。主なものを3つまでお答えください。(お答えは3つまで)」への回答



■ 決済手段、4年で大躍進したのは！？

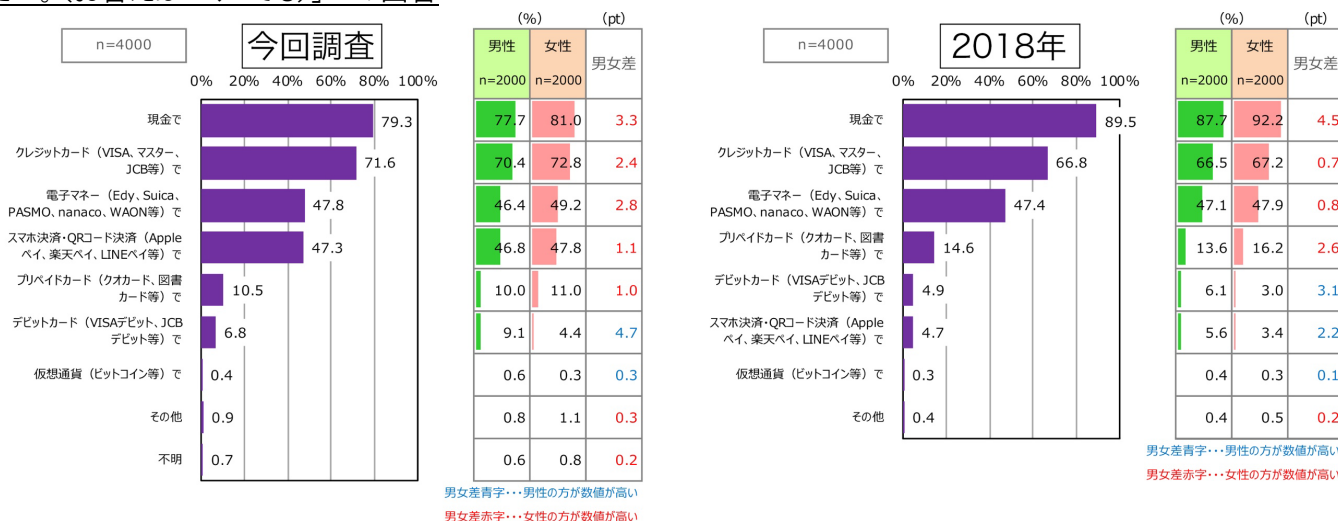
支払いの際、実際にどのような支払い方法を使っているかを聞くと(図表4左)、最も割合が高いのは「現金で」(79.3%)でした。2018年10月に行った同様の調査(図表4右)では「現金で」と回答した人が89.5%だったので、約10ポイント低くなっています。

2位の「クレジットカード(VISA、マスター、JCB等)で」は前回66.8%だったのが、今回は71.6%と約5ポイント上昇、3位の「電子マネー(Edy、Suica、PASMO、nanaco、WAON等)で」は前回47.4%で、今回は47.8%とほぼ変わりません。

注目すべきは「スマホ決済・QRコード決済(Appleペイ、楽天ペイ、LINEペイ等)」を利用する人の割合です。前回調査では4.7%でしたが今回は47.3%と、一気に伸びています。2018年から19年にかけてスマホ決済サービスが続々と誕生しましたが、それから約4年という短い期間で確固たる地位を築いていることが明らかになりました。

2018年の調査と今回の調査における共通点としては、「デビットカード(VISAデビット、JCBデビット等)で」と回答した人は、どちらも男性のほうが高い割合になっていることも挙げられます。

図表4「現在、あなたはお買い物のときなどに、どのような支払い方法をしていますか。主なお支払い方法をお答えください。(お答えはいくつでも)」への回答

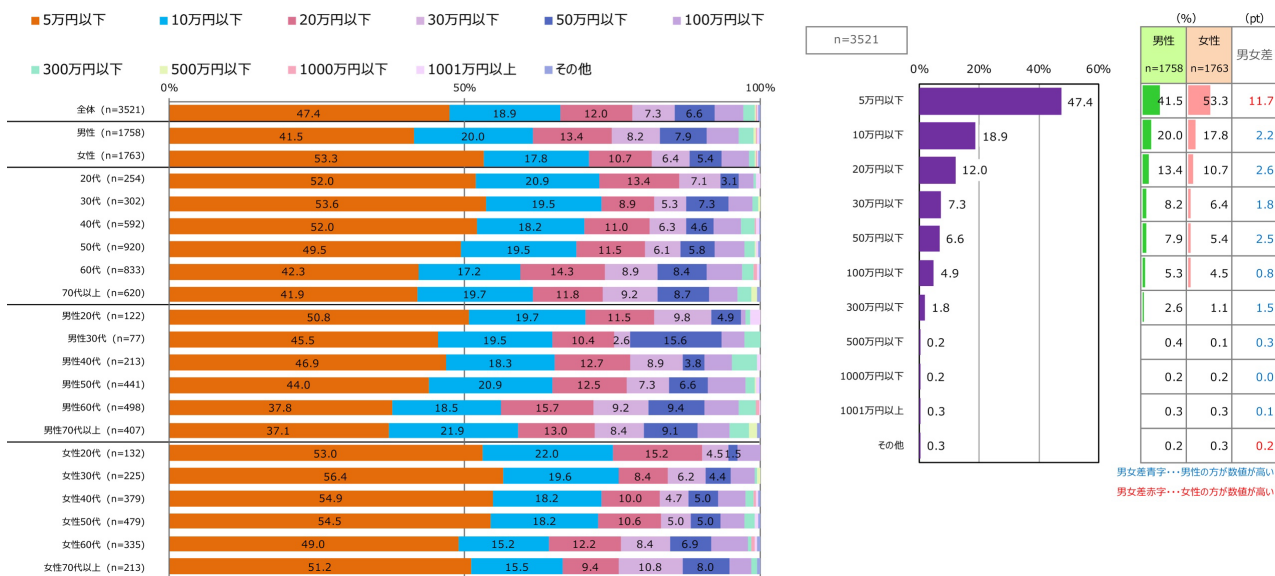


■ キャッシュレスで 1000 万円の買い物も

調査対象者 4000 人のうち、キャッシュレスで支払うことがある人は 3521 人でした(88.0%)。その人たちを対象に、最高でどのくらいの金額をキャッシュレスで支払ったことがあるかを聞くと(図表 5)、約 5 割の人が「5 万円以下」(47.4%)でした。「10 万円以下」が 18.9%、「20 万円以下」が 12.0%だったので、最高額が 20 万円以下の人を合計すると、78.3%となります。また、ごくわずかですが、「1001 万円以上」という人もいます(0.3%、11 人)。

性年代別に見ると、「5 万円以下」と回答した人の割合は、若いほうが高い傾向にあり、男女を比較すると、女性のほうが全年代で割合が上です。それでも男女ともに、「10 万円以下」と回答した人は 2 割近くいます。

図表5「あなたが、キャッシュレスで買い物するときの最高金額を教えてください。(お答えは 1 つ)」への回答



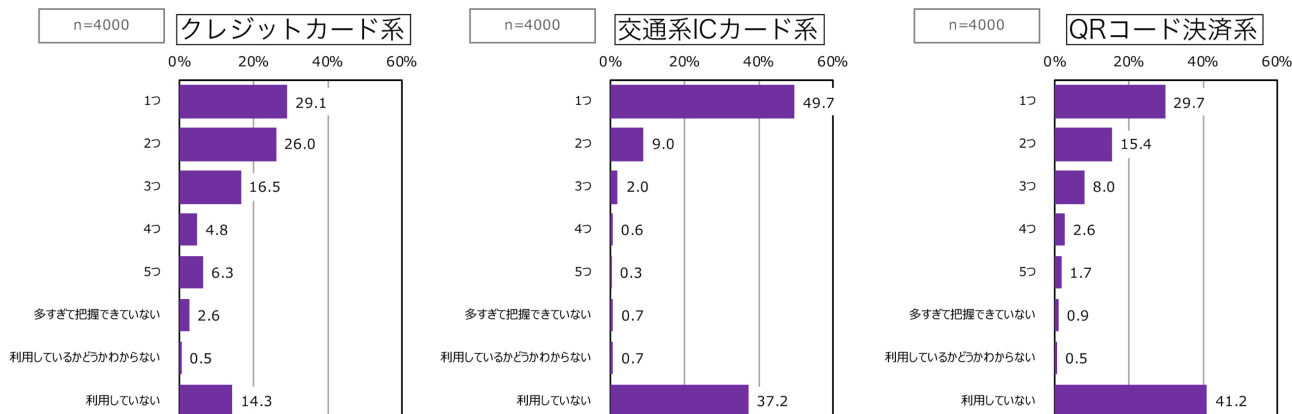
■ クレジットカードは複数利用が当たり前？

クレジットカードと言っても、ポイントや特典に応じて複数のカードを使いこなす人もいでしょう。クレジットカード系(カードレス含む)、交通系 IC カード系(カードレス、スマホでの決済含む)、QR コード決済系のそれぞれについて、いくつのサービスを利用しているかを聞きました(図表 6)。

交通系 IC カードについては、「1つ」と回答した人が 49.7%で、2 つ以上を併用している人は 1割強です。それと比べれば、クレジットカード系や QR コード系については、複数サービスを利用している人の割合が高いです。

特にクレジットカード系の場合、「1つ」と回答した人が 29.1%、「2つ」と回答した人が 26.0%で、ほとんど差がありません。ほかのサービスでは「4 つ」や「5 つ」と回答した人はほとんどいませんが、クレジットカード系の場合、合計で約 11%となっています。

図表6「あなたはクレジットカード系、交通系 IC カード系、QR コード決済系のそれぞれについて、いくつのサービスを利用していますか。(お答えはそれぞれ 1 つ)」への回答



■ キャッシュレスは便利！ だけど不安も……

キャッシュレスについて便利だったこと、困ったこと、考えることなどを自由回答で教えてもらいました。年配の人であってもキャッシュレスを使いこなしている人は少なくないようですが、「使いすぎが心配」「停電や電波障害が起こったときのため、結局、現金を持ち歩いている」という声も、年代問わず寄せられました。

《キャッシュレスの便利なところ・困ったこと、考えること》

【キャッシュレスに年齢は関係ない】

- 45年くらい前にヨーロッパ旅行へ行くときにクレジットカードを作成し、それ以降使用可能なところはほとんどクレジットカードを使用してきた。元々現金を持ち歩くのが好きではない。コロナの発生でキャッシュレスが増え、喜んでいる。(男性・60代)
- レジ通過がスムーズ。とくに、スーパーでレジの列が長いときでも、後ろの人に嫌な顔をされない。キャッシュレスに慣れすぎて、財布に小銭以外ないときがある。町のクリニック、薬局や美容院では現金しか使えないところが多い。(女性・70代以上)
- スマホのおサイフケータイ機能がQR決済で、ほとんどの支払いが出来る便利な時代になったが、現金しか使えないところがまだあり、お釣りの小銭だけが溜まっていく。しかも小銭を紙幣に両替するのに手数料がかかる時代となった。(男性・70代以上)

【キャッシュレスは手間が省ける】

- 重い荷物を持っているときでも、財布を探して、小銭を探して、という手間がなくなるから便利。(女性・20代)
- 指を怪我していたとき、キャッシュレス決済だと時間と手間がかからずにすんで楽だった。(女性・20代)
- 大きい病院や薬局でキャッシュレス決済が使えるようになって、とても便利になった。診察や薬代は代金の見当がつかないからいつも多めに現金を用意していく必要があった。小さい病院もぜひキャッシュレス決済を導入してほしい。(女性・50代)

【店員が不慣れなことも】

- キャッシュレス支払い可能なタクシーに乗ったのに、運転手さんがよくわかっていなくて、決済を断られた。(女性・20代)
- 店員さんが決済方法をわかっていなかったので時間がかかった。(男性・70代以上)
- コンビニの店員さんが、やり方がわからず、現金で払った。(男性・70代以上)

【キャッシュレスは使いすぎが心配】

- 金遣いが荒いので使いすぎてしまう。現金が一番。(女性・20代)
- 現金が足りなくなっても、チャージすればQRコード決済で支払いできると思ってしまうので、つい余計なものまで買ってしまふ。(女性・30代)
- キャッシュレスはお金を使った実感が少なく、財布の中身が減らないので使いすぎる傾向にある。(女性・50代)
- キャッシュレスは使いすぎが心配だし、使い方もよくわからない。(男性・50代)

【種類が多すぎて困る】

- 店舗によって使えるキャッシュレス決済が異なるため、店舗ごとに把握しなければならず煩雑。(男性・50代)
- お店によって決済方法が違うこと。できれば全部同じ決済方法にして管理したい(女性・20代)

【電波障害など、かえって時間がかかることも】

- QRコード決済をしようとしたが、電波が悪くなかなかページを開いてもらえず、レジで時間がかかってしまい、他のお客さんの迷惑になった。(女性・40代)
- QRコード決済に対応したスーパーで利用してみたら、時間がかかりすぎて、混雑時には迷惑になるので使えないと思った。(女性・60代)

《 「キャッシュレス」に関する意識調査 質問一覧 》

- 【クロス集計用1】あなたはコンビニをどのくらいの頻度で利用しますか。最も近いものを教えてください。(お答えは1つ)
- 【クロス集計用2】あなたはバスや電車などの公共交通機関(タクシーは除く)をどのくらいの頻度で利用しますか。最も近いものを教えてください。(お答えは1つ)
- Q1.あなたのお財布には普段、現金がいくらくらい入っていますか。(お答えは1つ)【お札(紙幣)】【小銭(硬貨)】
- Q2.現在、あなたはお買い物するときなどに、どのような支払い方法をしていますか。主なお支払い方法をお答えください。(お答えはいくつでも)
- Q3.あなたはクレジットカード系、交通系ICカード系、QRコード決済系のそれぞれについて、いくつかのサービスを利用していますか。(お答えはそれぞれ1つ)
- Q4.あなたが支払いに、現金を利用する理由はなんですか。主なものを3つまでお答えください。(お答えは3つまで)
- Q5.あなたが支払いに、電子マネーを利用する理由はなんですか。主なものを3つまでお答えください。(お答えは3つまで)
- Q6.あなたが、キャッシュレスで買い物するときの最高金額を教えてください。(お答えは1つ)
- Q7s1.あなたは、お買い物などの支払いのとき、現金以外の次のような支払いツールを使っていますか。お使いの場合、いつから使っていますか。(お答えはそれぞれ1つ)
【前払い(プリペイド):プリペイド式の電子マネーなど】
【後払い(ポストペイ):クレジットカードなど】
【即時払い(リアルタイムペイメント):デビットカード、即座引落しのQRコード決済など】
- Q8.仮に、「現金お断り(現金支払いできない)」というところで支払うことになった場合、あなたはどんな方法で支払いますか。(お答えはいくつでも)
- Q9.あなたはチャージ済みの交通系ICカードやプリペイドカードなどを紛失したことがありますか。ある場合、最高でどのくらいの金額分を紛失したか教えてください。(お答えは1つ)
- Q10.キャッシュレスでの支払いをして便利だったこと、困ったことや、キャッシュレスについて悩んでいることなどを教えてください。(自由回答))

調査機関:株式会社プラネットによる調査企画のもとに、株式会社ネオマーケティングにて「キャッシュレス」に関する意識調査を実施。

期間:2022年12月26日~2023年1月4日、インターネットで4,000人から回答を得ています。

株式会社プラネットとは <https://www.planet-van.co.jp/>

メーカー、卸売業、小売業がサプライチェーンとして連携し、生活者へのサービス向上を目指して進化を続ける日本の消費財流通を、情報インフラ運営で支えている上場企業(証券コード2391)です。

From プラネットとは https://www.planet-van.co.jp/news/from_planet.html (バックナンバーもご覧になれます)

株式会社プラネットが発信しているニュースレターです。消費財や暮らしに関する旬なトピックスなどをご紹介します。

本件に関するお問い合わせ先

今リリースに掲載していない結果や属性データのご紹介や、当社担当者が解説を差し上げることもできます

株式会社プラネット 広報部:河合

E-mail : koho-pr@planet-van.co.jp